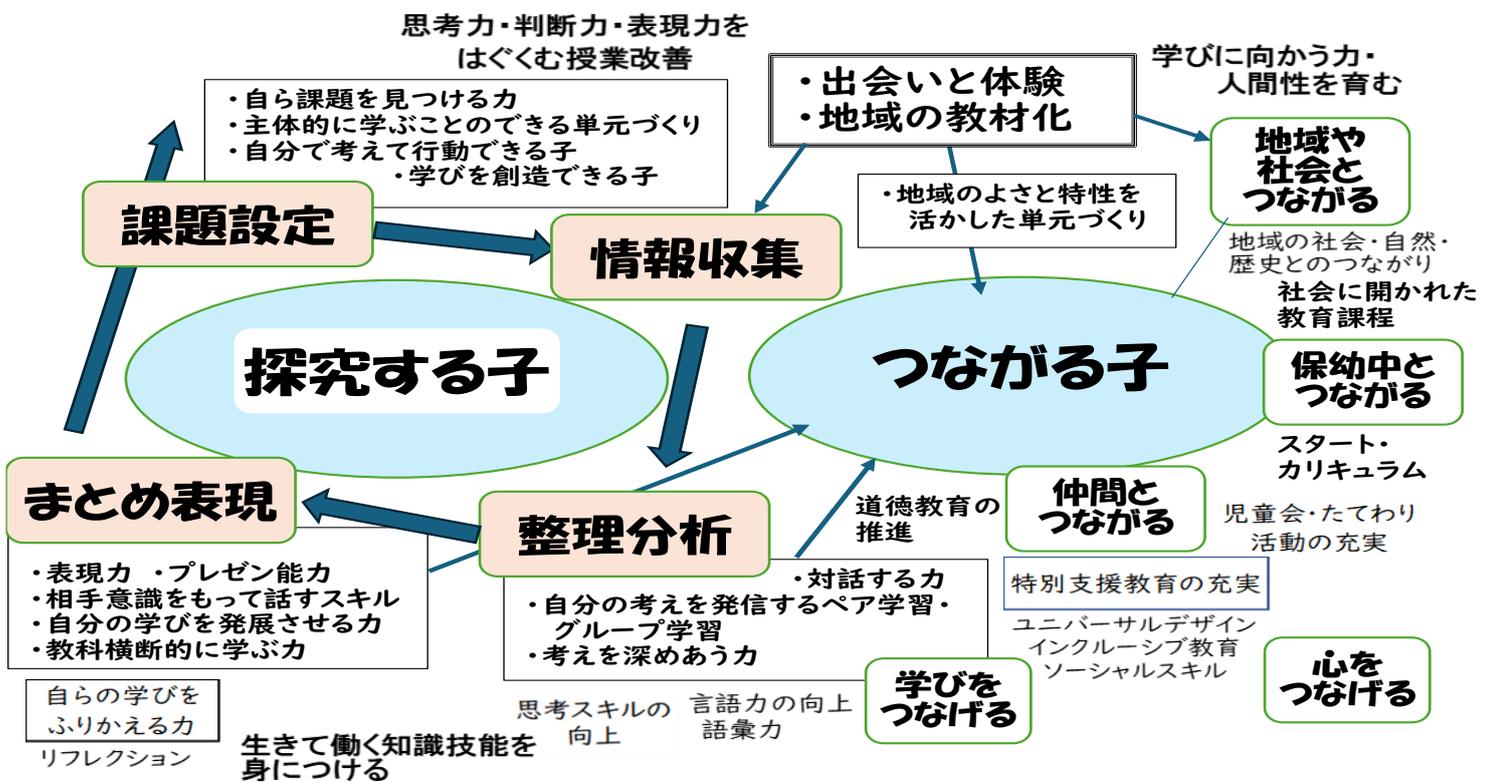


令和7年度 学校教育基本方針

令和7年 4月 1日
和泉市立緑ヶ丘小学校
校長 上田 晋郎

- 1 学校教育目標 『知・徳・体 バランスのとれた子どもを育てる』
- 2 めざす子ども 「かがやけ子ども」
かんがえる子、がんばる子、やさしい子、けんこうな子
- 3 学校教育重点目標 『探究する子 つながる子』

豊かな出会いと体験を糧に、主体的に学び考え行動できる資質・能力や、対話的な学習や体験を重視して、考えを深めたり広げたり伝え合ったり表現したりできる資質・能力を育て、「緑ヶ丘小学校で学んだことが将来子どもたちの力になる」ように本校の教育を推進していきます



(1) 学力向上の取り組み

- ・確かな学力向上のための指導方法の工夫・改善 (学力向上推進委員会)
- ・子どもの実態、課題を踏まえた学習指導力の向上・指導方法の研究
- ・思考力・表現力(自分の考えをもち根拠をもって説明する力の育成)の向上
- ・自学自習力の育成
- ・認め合い、励まし合い、高め合う学級集団づくり
- ・生涯学び続ける子どもの育成、子どもたちの未来に生きて働く学力の向上
- ・『地域の教材化』の質的な向上を図り、教科横断的な学習で問題解決能力の伸長を諮る
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- ・「学習の基盤となる資質能力の向上」
- ・質の高い探究的な学びを実現するための「総合的な学習の時間」の在り方を吟味し充実を図る
- ・スタートカリキュラムの推進

・柔軟な教育課程編成の促進・検討

- ② 学校における教育の情報化の推進
・デジタルの力でリアルな学びを支える授業
- ③ ALTを有効活用した英語力向上
- ④ 国語教育を中心とした言語能力育成の推進（読書活動推進を含む）

(2) 子どもたちの規律・規範の確立と豊かな心のはぐくみ

- ① 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」
- ② 仲間を理解し互いに認め合う、いじめを許さない集団づくり
- ③ 「ともに学び、ともに育つ」支援教育
- ④ 道徳の時間を要としての心の教育の充実
- ⑤ 子どもが自ら可能性を伸ばし、自らを切り拓くキャリア教育の充実
- ⑥ 自らの大切さや他の人の大切さが実感できる人権教育の推進
- ⑦ 6年間を見通した平和教育の推進
- ⑧ 児童のウェル・ビーイングを考えた学校生活の在り方の見直し(不登校児童支援をとおして)

(3) 学校・家庭・地域の連携による安全で安心な学校づくり

- ① 子どもの安全及び人権確保と危機管理体制を充実
- ② 子どもの健康と体力づくりの推進
- ③ 学校教育自己診断の活用による学校運営改善
- ④ 保護者との連携、真摯な保護者対応
- ⑤ 出会いと体験を核とした『地域の教材化』を通じた防災教育・福祉教育の充実
- ⑥ コミュニティスクールの取組—教育課程の中での地域との連携の在り方を考える。

(4) 保護者・地域から信頼される教職員の資質向上と学校運営体制の確立

- ① 教職員のサービスの徹底
- ② 教職員のウェルビーイング実現のための働き方改革、校務の情報化の推進
柔軟な教育課程の編成に向けての検討
- ③ 学校組織としてPDCAサイクルを重視した取り組みの推進
- ④ OJT・メンタリングシステムを活用した経験の浅い教職員の育成
- ⑤ 適正な事務・会計処理 の遂行